

甲佐町議会だより

第131号



清流

平成21年11月15日

発行 甲佐町議会

発行責任者 議長 中村幸男

9月定例会



緑川保育所の運動会

平成20年度各会計決算の認定・一般会計補正予算・

人事案件・広報研修報告・・・・・・・・②

論点 Q&A そこが知りたい・・・・・・・・③～④

一般質問3人 ここが聞きたい・・・・・・・・⑤～⑦

傍聴席から一言、臨時議会・・・・・・・・⑧

9月定例会

決算の認定

平成20年度一般会計歳入歳出決算の認定については、賛成9反対1で認定した。

歳入歳出差引額が2億6049万1431円となり、これから翌年度へ

平成20年度各会計歳入歳出決算額

| 会計別内容 | 歳入 | 歳出 | 差引額 |
|---------|-----------|-----------|----------|
| 一般会計 | 58億5581万円 | 55億9532万円 | 2億6049万円 |
| 国民健康保険 | 16億9913万円 | 15億7169万円 | 1億2744万円 |
| 老人保健 | 2億1656万円 | 2億320万円 | 1336万円 |
| 介護保険 | 12億1594万円 | 11億6167万円 | 5427万円 |
| 後期高齢者医療 | 1億1761万円 | 1億1576万円 | 185万円 |
| 住宅新築貸付 | 44万円 | 42万円 | 2万円 |
| 合計 | 91億549万円 | 86億4806万円 | 4億5743万円 |

水道事業会計

| | | | |
|-------|----------|-------|----------|
| 収益的収入 | 1億4456万円 | 収益的支出 | 1億2218万円 |
| 資本的収入 | 1500万円 | 資本的支出 | 7450万円 |

一般会計補正予算

1億3289万3000円の追加補正を可決した。

主なものとして、

- ①子育て応援手当て交付金 864万円
- ②総合保健福祉センター屋外デッキ改修工事費
- ③水田地域営農体制整備支援事業費補助金 420万1000円
- ④町道改良舗装工事費 2269万円
- ⑤各小学校の太陽光発電工事費 4836万5000円

固定資産評価審査委員会委員の選任同意

任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員に

このうち財政調整基金への繰入額は1億1000万円となる。

9月定例会は、11日開会、15日までの実質3日間の審議が行われた。

案件は、固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意案件1件、教育委員会委員の任命に関する同意案件2件、平成20年度一般会計ほか、各特別会計及び水道事業会計決算の認定、条例案件2件、平成21年度一般会計及び特別会計補正予算案件4件、議会広報編集特別委員会の研修報告、その他の案件が上程され、全て原案どおり可決した。

なお、一般質問には、3人の議員が登壇し、町政全般について質問した。

全会一致で同意された。



古閑 國盛氏

教育委員会委員の任命同意

教育委員会委員に米村千晶氏と西坂登氏が選任された。

米村氏は、平成13年10月から8年間、その職責を全うしてこられ、教育委員会委員として適任であるとのこと、全会一致で同意した。



米村 千晶氏

また、西坂氏は、熊本

全会一致で同意した。

県職員として各部署を歴任後退職され、豊富な経験と見識の持ち主であり、誠実・温厚な人柄で、地域の人望も厚く、同じく全会一致で同意した。



西坂 登氏

広報編集特別委員会 研修報告

議会広報編集特別委員会は、去る7月9日に、鹿児島県大崎町議会の議会広報について視察研修を行った。

大崎町議会の議員定数は16人で編集委員は各常任委員会から2名ずつ選任し、6人で構成されている。

編集委員会を各定例会

の翌日に開催し、紙面の内容と分担割り当てをされ、その後、校正のための会議を2、3回開かれている。

一般質問については、質問者一人につきページと決められ、質問された議員が本会議終了日までに、800字程度にまとめた原稿を提出し、担当の編集委員が内容のチェックを行い作成しているとのこと。

また、町民、特に子どもたちの町に対する思いや意見を記載されていた。今後、この研修を活かし、広く多くの人に親しんで読んでいただけるような議会広報「清流」づくりに努めていきたい。



大崎町での広報研修

ここが知りたい

Q & A

9月定例会 質疑より



住宅使用料の徴収率向上を

町営住宅使用料について

Q 20年度決算書で、町営住宅の使用料が調定額に対して収入済額が半分の額になっているが理由は。また、5年前の徴収率はどうか。徴収率の向上対策を望む。

A 決算書では確かに調定額に対して収入済額が42・3%となっている。これは過年度の滞納分も調定額に加算しているため未収入額が多くなっている。5年前の徴収率は61・5%で、現年度分だけの徴収率は80%くらいである。

徴収率の向上対策とし

町営住宅使用料について

て、未納者の方に督促状を送付しているが、それでも納入がない場合は納入方法の相談、次に保証人の方に納入通知を行いたい。最終的には法的手段に持つていかざるを得ない。

国民健康保険条例の一部改正について

Q 国民健康保険条例の一部が改正されたが内容は。

A 改正の内容は、国の緊急少子化対策として、出産したときに支給する出産育児一時金の改正である。

この一時金については、平成21年10月1日から平成23年3月31日までの間に出産したときに支給される暫定措置である。

現在の一時金35万円に4万円を加算して39万円とするものである。なお、産科医療補償制度に加入する分娩機関で出産した場合は3万円が加算され42万円となる。

AED（自動体外式除細動器）について

Q AED（自動体外式除細動器）の購入費が予算計上されているが設置場所はどこか。また、既設置場所は。

※AEDとは……強い電気ショックを与えて心筋のけいれんを除去する電氣的除細動を自動的に行う機器



甲佐町役場に設置してあるAED器

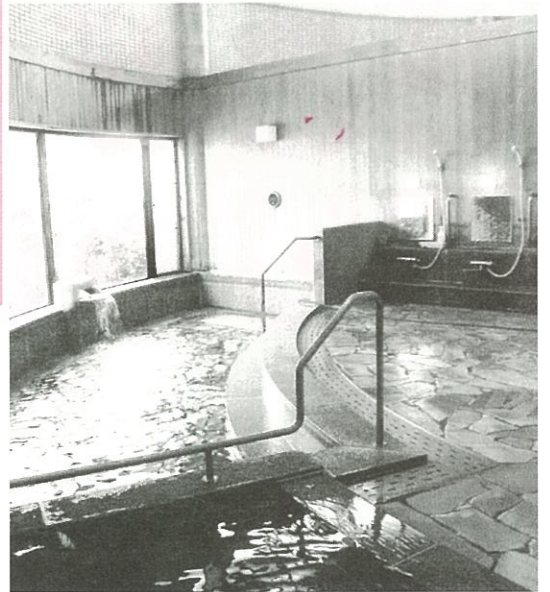
医院等に設置済みである。今後の予定については、不特定多数の方が集まるような場所が考えられる。

老人保健特別会計について

Q 老人保健特別会計は平成22年度までで精算することになっているが、順調に進んでいるか。

A 今回の設置場所は町営バスの車内およびトレーニングセンター、井戸江峡キャンプ場、グリーンパル甲佐の4箇所に設置する。既設については、役場、保健福祉センター（鮎緑）、甲佐高校、中学校、各小学校、荒瀬病院、谷田病院、小戸迫医院、桃崎整形外科

A 平成20年度に後期高齢者医療保険制度が新設されて老人保健制度は廃止された。現在老人保健の医療費の月遅れ分、以前の過誤調整分、保険が間違つて請求された分とかの精算が終われば、この保険は平成22年度で消滅する。



「あゆみの湯」利用増策は

総合保健福祉センター「あゆみの湯」について

Q 総合保健福祉センター（鮎緑）の「あゆみの湯」入浴料については19年度よりは少し増えているが、あまり知られていないように思う。もっとPRして利用増を図るべきと思うが。

A 利用者は19年度に比べ20年度は少し増加している。しかし、13年度に比べれば人数は12%減少している。今まで、内部改修等を行ったが利用時間帯等をもう少し検討して利用増を図る。また、

もっとPRに努め、町民の皆様によく利用される施設となるよう努力したい。

シルバー人材センターについて

Q シルバー人材センターに運営補助金が出されているが、町内の皆様からこの活動には大変喜ばれているが登録者数は何人くらいおられるのか。また、活動の売上はどのくらいか。

A 現在、シルバーセンターに登録している方は約50名くらいである。

キャンプ場の利用状況について

Q 井戸江峡キャンプ場、川平キャンプ場の利用者は増えているか。また、魅力あるキャンプ場とするため、現在あるカヌー等をはじめ、またその他の施設を整備し、体験型観光のキャンプ場を目指すべきではないか。

A 利用者については、井戸江峡キャンプ場は18年度、19年度、20年度と



キャンプ場の整備は、利用増策は

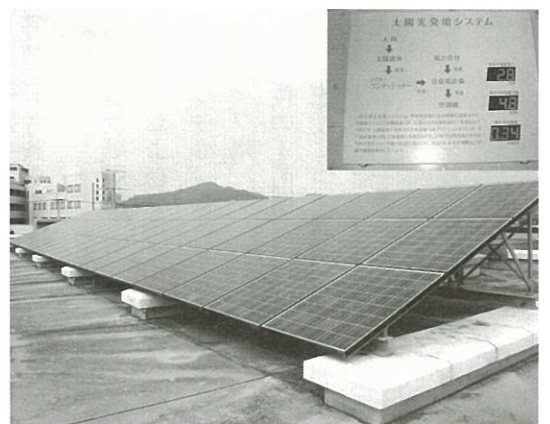
売上は1000万円位と聞いている。

少しづつ伸びてきている。川平キャンプ場は19年度に水害で使用を一時停止した関係で減少したのを除けば微増となっている。今後ともPRを行い利用者増に努める。

水田地域営農体制整備支援事業について

Q 総合農政対策事業費の中で水田地域営農体制整備支援事業とは。

A 熊本県が農業機械の導入に対して3分の1



太陽光発電装置（役場屋上）

太陽光発電装置について

Q 各小学校に太陽光発電装置の設置計画があるが発電能力はどれくらいか。また、各小学校で使用する電力分を賄うことができるのか。

生ごみ処理器について

Q 生ごみ処理器の補助があるが、堆肥化できる機能をもっているか。

A 堆肥化でき家庭菜園などにも使用できる。

A 能力としては10キロワットの太陽光発電装置を設置する。甲佐小学校については、

すでに10キロワットを設置しており、今回新たに10キロワットを設置するので合計20キロワットとなる。甲佐小学校においては、使用する電力相当分くらいになると思われる。

一般質問 と答弁



北畑常博 議員



農業問題について

北畑議員

今度の選挙で政権が変わり、農業関係についての、補助金等の見直し、特産品開発の継続は出来るのか。

本田産業振興課長

正確には県を通じても補助金については、内容等の説明がなされていないので、はっきりしたことは、まだお答えできない。

奥名町長

特産品開発については、事務、人件費等は、ふるさと雇用の対策事業を使い現在事業を進めている。農業費補助金については、今後は、それぞれの



ごみ焼却場

道路網の整備について

北畑議員

道路網についての進捗状況と、これからの計画はどうなっているか。

本田建設課長

今後の道路網の計画については、道路整備計画プロジェクトが立ち上がり、その中で、今後5ヶ年計画の策定を協議している。

本田産業振興課長

産業振興課独自の道路整備はないが、県営の広域農道の整備及び中山間地域総合整備事業と乙女・大沢水線に取り組んでいる。

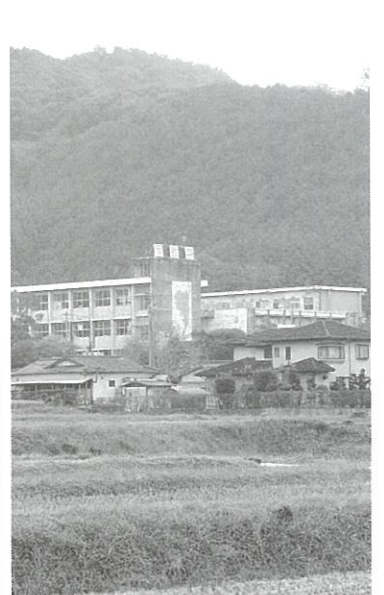
環境整備について

北畑議員

この環境というのは、ちり、灰、火葬場、それに衛生施設組合のことであるが、燃やした後の灰なんかは、甲佐町、御船町だけでなく、上益城全域で考えて、施設の建設を考えたかどうか。

奥名町長

現在、御船町と一緒に



甲佐中学校

学校建設等について

北畑議員

中学校は、甲佐町の宝を育てる施設であるので、運動等ものびのびできる、余裕のある学校づくりを。溜淵教育長

校舎、体育館並びにプールについては、年次計画を立てながら建設したいと考えている。

方向で検討を行った。その検討の結果、新設あるいは改修するには多額の費用を要し、委託については、経費的には安くするが、受け入れ側に不透明な部分もある。従って、他の組合とも速やかに広域的取り組みについて、協議を積極的に進めていきたい。

校舎、体育館、プールの建設場所、レイアウト等を総合的に考える必要がある、実施計画の折には、建築場所や、施設等の機能並びに規模及び配置など、町長部局あるいは議会の学校建設特別調査特別委員会等に御諮りしながら、今後検討を行っている。

宮本 修治 議員



子ども議会について

宮本議員

子ども議会について協議の内容はどうなっているか。

伊豆野学校教育課長

甲佐中学校と教育委員会で、子ども議会の実現に向けての話し合いを数回行い、その中で、生徒会の執行部により子ども議会に取り組んでいくことで話を進めている。日程については、10月22日に開催できればというところで準備を進めている。

職員採用について

宮本議員

職員の採用について、応募状況を総務課長に尋ねる。

甲斐総務課長

来年の職員採用については、大学卒業程度の試験で、社会福祉士を1名、また、高校卒業程度の試験で一般事務を6名、それと土木を1名で、計8名の予定である。その申

観光開発と豊内バイパスについて

宮本議員

甲佐町の観光開発についてと県道三本松甲佐線の豊内バイパスの改良計画について町長に尋ねる。

奥名町長

町の観光開発を進めていくことは、私のマニ



子ども議会

込状況は、社会福祉士に6名、土木に7名、一般事務に90名、合計で、8名に対し103名の方が応募をされている。

フェストにも載せているが、その中でやな場の観光開発については、まずは豊内バイパスを完成させることが必要だと思っ

企業誘致について

宮本議員

甲佐町における企業誘致の状況をお尋ねする。

井上企画推進課長

甲佐町における企業誘致の状況は、現在、進出企業としては21社ある。近年では、町を経由して



やな場

誘致されたのは、平成20年にホンダの二輪車関係で、株式会社ユニオンパーツが芝原に進出をしている。

宮本議員

企業誘致の候補地調査を、本年度から行うようになってきているが、その状況を伺う。

井上企画推進課長

本年度に企業誘致の候補地を調査する件ですが、

企業誘致をまず進めるには企業が求める要望に対していかに迅速に対応できるかが重要となる。そういう観点から候補地の選定には道路や排水問題が重要になるので、それを把握するために航空写真撮影を委託している状況である。

井 芹 しま子 議員



基幹産業にふさわしい 農業予算の見直しは

井芹しま子議員

甲佐町の農業総生産額は平成14年と18年を比較しても4割台に落ち込んでいる。農業の再生は地域経済の活性化にとっても不可欠の問題である。人口や第1次産業人口がほぼ同じ多良木町や錦町と比べても農林業予算には大きな開きがある。19年度でも多良木町は5億1400万円、錦町は3億1600万円、甲佐町が1億5500万円である。町の基幹産業としてふさわしい予算の増額で農業の振興、経済活性化にこたえるべきではないか。

奥名町長

他町の予算の中身を精査し、本町としての考えをきちんとしていきたい。

特産品開発の進捗は

井芹しま子議員

町は2000万円の予算をかけ、3年間で特産品開発を業者に委託しているが町長はどのような期待を持っているのか、また、開発には町民参加が不可欠と考えるが、どう町民の声を反映させていくのか。

奥名町長

特産品開発については

農家の所得向上につながるよう期待を持っている。今後、ワークショップの中で町民の声を充分に反映させていきたい。

本田産業振興課長

県内外3社の中からプロポーザル方式によって選定した、福岡の「ランドプレーン」へ委託。8月1日に業務委託契約を締結した。

日米FTA・日豪EPA に対する町の対応は

温暖化等気象変動、人口増による食糧危機はかつてなく高まっており、日本農業の再生は待たない。この日本の農業を破壊する日豪EPA・日米FTAの交渉に反対

すべきでは。奥名町長

この問題については、非常に農家経営者にとっては深刻に心配されていると思うが、現段階では新政策の対応を見守らざるを得ない。

子育て世帯の住環境 の整備・拡充は

井芹しま子議員

政府統計によると、世帯主34歳以下の若い借家世帯では、所得に対する家賃負担が20%以下の世帯が1984年には26%であったのに対し、2004年には43%に高くなっている。住まいは生活を営むうえでの土台である。低所得者や低所得の子育て世帯が安心して子育てが出来るよう安心して住みよい公営住宅の建設や家賃補助など住環境の整備・施策の拡充が必要ではないか。

奥名町長

町の住宅政策については、甲佐町の住宅マスタープランに基づき、民



稲刈りを終えた田



くらし安全推進室長

間による宅地開発や定住を望む新築住宅に積極的支援を行っており、現段階では町営住宅を建設する考えはもっていない。

新型インフルエンザの 感染・拡散防止対策は

井芹しま子議員

新型インフルエンザの感染・拡散防止対策、体制はどのようになっているのか。又、国保未納者へ発行されている資格証明書については、外来抑制につながるような国からの通達があつていないか、その周知等町の対応はどのようになっているのか。

福永住民生活課長

現在10件の資格証明の発行があるが、国の方針によって資格証明であっても被保険者証としてみなす通達が来ている。8月の交付の時は通知していないが、今後検討したい。

傍聴席から一言

「甲佐町議会を傍聴した感想」

甲佐町議会を見学して、予想していたとおりの厳かな雰囲気です。町の議会」というものにとっても実感できました。

また、議会での答弁を聞いて、少しわからないところもあったけど、甲佐町の良いところや問題点を知ることができて、私の住んでいる甲佐校区以外の地区も少し身近に感じることができて、とても良い経験になりました。

今回、議会の内容で、一番印象に残っているのは、甲佐町の観光についての議題です。町の議員さんたちが、一生懸命に町を発展させるために、努力されているということがとても伝わってきました。

今回、議会を見に来て、議員さんや町長さんや各課の課長さんたちは、とても責任ある仕事をさ

甲佐中学校3年 花園 香穂
議会を見学したのは初めてで、とても緊張感のある議会だなあと感じました。

甲佐町民が安心して暮らせるために、議会の皆さんは話し合っているんだなということが良く分かりました。また、私たちには分からない言葉もたくさんあって難しかったです。自分に関係のないことだと思わず、議事を聞くことができました。また、議長さん、町長さん、発言者の方一人一人が、責任ある仕事なんだということも分かりました。

今回は、私達も議会をする番です。今回の甲佐町議会ですんだ事を、子ども議会に活かしていきたい、自分の担当を責任もってやっていきたいと思えます。

今回、甲佐町議会を傍聴させていただいて、ありがとうございました。子ども議会の時よろしくお祈りします。

平成21年度第3回臨時議会

平成21年10月1日に、平成21年第3回臨時議会を開催した。

○財産の取得について

定住促進住宅（雇用促進住宅甲佐宿舎）の取得について、全会一致で可決した。

物件 土地 所在 甲佐町大字緑町字中野275番13

地目 宅地
地積 5504.97㎡
建物 種類 共同住宅2棟その他集会所等
構造 鉄筋コンクリート造陸屋根5階建

取得価格 5693万2118円
(内、国交付金 2561万9000円)

取得先 神奈川県横浜市中区桜木一丁目1番地8
独立行政法人 雇用・能力開発機構
理事長 丸山 誠

○甲佐町定住促進住宅の設置及び管理に関する条例の制定について

全会一致で可決。

○甲佐町定住促進住宅施設整備基金条例の制定について
全会一致で可決。

○農業委員会委員の推薦について

推薦者は、次のとおりです。

甲佐町大字仁田子615番地 吉居 一雄 氏

甲佐町大字下横田1216番地 奥村 一利 氏

甲佐町大字船津1909番地1 日隈 雄一 氏

甲佐町大字芝原1011番地 里形 昇 氏

編集後記

先日、議員の視察研修で行った、群馬県の上野にある片品村の豆腐屋さんの話です。

この、「尾瀬ドーフ」の社長さんは、かつて有名だった「大白大豆」という品種の大豆を復活させ、この大豆をブランド化して片品村特産の商品を開発しておられます。

特産品づくりを我が町でも取り組んでいきます。

昔ながらのもの、おばあちゃんの知恵、歴史的なものなど、何か特徴のあるものを見つけたことが大事だと思います。

これから取り組まれる特産品づくりの参考にしていただければと思います。

議会広報編集特別委員会

委員長 本田 新

副委員長 本郷 昭宣

委員 緒方 哲哉

委員 宮川 安明

委員 井岸しま子